

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成27年10月15日

施設名	高知県立ふくし交流プラザ	所管課	地域福祉部 地域福祉政策課
-----	--------------	-----	---------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(社福)高知県社会福祉協議会	指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
施設所在地	高知県高知市朝倉戊375-1		
事業内容	1. 高知県立ふくし交流プラザの維持管理等業務（施設の維持管理及び貸し出し） 2. 県民に対する介護講座事業の実施 3. 福祉用具の調査研究及び展示・試用貸出等 4. 福祉用具の収集及び保管管理等 5. ふくし交流プラザふれあいショップの運営 6. 自主提案事業 <平成26年度> 1) ケア力向上研修 Step1(人の尊厳を考えるベーシック研修)～Step4(介護技術研修応用編) 介護入門研修 2) 障がいキッズ&パパママ応援事業 3) 生きがいづくり支援事業 ・健康マージャン教室 ・シルバー手づくり展開催事業 4) プラザ企画展		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 施設名：高知県立ふくし交流プラザ 設備：1Fレストラン、2F～5Fに自動販売機設置、駐車場(普通車で209台／無料)完備 面積：【土地】7,570㎡ / 【建物】7,965.24㎡(延べ床面積) 利用時間：9:00～17:00(ただし、特別に許可された貸室は21:00までとする) 休館日：毎月第2日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・12月29日～1月3日 貸室：各室の面積、定員、利用料金は【別紙1】のとおり		
職員体制	常勤職員：8人 非常勤職員：6人 臨時職員：2人 合計：16人		

## 2 収支の状況

(単位：千円)

		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(予算)
収入	県支出金	60,058	62,681	61,893
	使用料・手数料	12,368	12,292	12,424
	負担金	6,631	7,592	6,732
	その他	9,125	7,197	—
	収入計 (a)	88,182	89,762	81,049
支出	事業費	16,458	12,353	6,027
	管理運営費	45,431	48,234	47,819
	人件費	24,938	28,499	27,203
	その他	—	—	—
	支出計 (b)	86,827	89,086	81,049

### 3 利用状況

	平成25年度(実績)	平成26年度(実績)	平成27年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	77,924	77,421	79,000
②利用者意見等の反映	○ 貸室利用者アンケート等の実施状況 時期:随時 方法:館内に意見箱を設置し、利用者からの意見を収集。 結果:H26年度は、運営・管理に関する意見等が4件寄せられた。 そのうち、女子トイレと男子トイレの区別が分かりづらいといったすぐに対応可能な意見については、速やかに表示を設置する等の対応をしている。		
	○ 事業参加者アンケート等の実施状況 時期:その都度 方法:アンケート調査による意見収集 結果:参加者の満足度や意見、研修への理解度等を参考に次回以降の事業内容・取組等へ反映している。		
③その他特記事項			

### 4 平成26年度業務評価

項 目		評 価	状 況 説 明
効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理	適正な管理運営の確保	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルを適宜更新し、緊急時に速やかに対応できる体制を整えている。</li> <li>・夜間貸室時は、職員と警備員の2名体制で対応している。</li> <li>・貸室の下見や問い合わせに対して、丁寧かつ分かりやすいよう努めている。</li> <li>・意見箱への意見は少ないが、女子トイレと男子トイレの区別が分かりづらいといった対応可能な案件は、表示を設置するなど速やかに対応している。また、職員が施設利用で気付いた点から改善につなげる職員提案制度を行っている。</li> <li>・利用人数は延べ77,421人で、H25年度より503人(0.6%)、貸室全体の利用日数は延べ2,039日でH25年度より22日(1.0%)減っている。また、介護・福祉機器・住宅改修等への相談状況は、相談体制を分業したことにより実人数で1,787件となり、H25年度より107件(5.6%)の減となっている。</li> <li>・使用料収入は、12,292千円であり、ほぼ前年と同額となっている。</li> </ul>
	利用者サービスの維持向上		
	利用実績		
	収支の状況		
福祉の総合拠点としての情報発信と機能の充実・強化	福祉や介護に関する情報収集及び発信	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具コーナーの体制充実や専門有資格者の相談員を配置し、県民への相談助言体制を整えている。また、施設への用具貸出が増加したこともあり、福祉用具の利用貸出が1,352点(780件)の実績となり、H25年度より194点(136件)の増、伸び率は16.7%であった。</li> <li>・通常の福祉機器展以外にも障害児のための福祉機器展を開催し、支援者のネットワークづくりを行った。</li> <li>・健康マージャン教室(毎週水曜(全8回)、延べ83人)やシルバー手づくりバザー(年3回 約1,300人)を開催し、高齢者の健康・生きがいづくりに寄与した。</li> <li>・福祉サービスの質向上への取組として、介護専門職向けの研修を習熟度に応じて体系的に実施した。</li> </ul>
	福祉用具の展示及び管理		
	高齢者や障害のある方の社会参加への促進		
	福祉を担う人材の育成		

	<p>関係機関等との連携・協力による、福祉の振興</p>	<p>・「県内の専門職集団との連携」を通じ、全国的にも珍しい障害児のための福祉機器展の開催、「障害児の家族会と連携」しカウンセリングを開催したことなど、多様な組織と連携・協力し福祉の向上、振興に努めた。</p>
--	------------------------------	---

項 目	評 価 状 況 説 明
<p>総合評価</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむね協定書及び平成26年度事業計画書に基づいた管理運営が実施された。</li> <li>・高知県社会福祉協議会による管理は第2期、7年目となっており、ノウハウも一定蓄積し、また高知県社会福祉協議会の持つ幅広いネットワークを生かした安定的な管理運営が行われている。こうしたノウハウを活かし、平成26年度においては福祉用具コーナーの利用者の増加などに繋げているが、今後も引き続き潜在的な利用者ニーズの把握や利用者の満足度の向上を図るとともに、「福祉の総合拠点」として相談機能の充実や福祉サービスの質向上に向けた取組の強化が必要である。</li> </ul>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの